



発行所 県立芦高高等学校
出版部 兵庫県芦屋市宮川町6-3
TEL 0797-32-2325

クリスマスEVE号

バックトゥザ記念祭

文化節展示の停滞

この時期に記念祭を論じるのは時期はずれではないかと思う人もいる。しかし、部の予算交渉も始まったこの時期に、来年のために、今考えていくことが必要なのだと感じていくことが必要だ。

文化節も無事に終わり、学校前と同様平穏を保っている。その記念祭の中で沈滞気味だと言われているのが文化節展示だ。そこで文化節展示について取ったアンケートから、文化節展示について考えてみたいと思ふ。なおこのアンケートは資料数五百七十八、回収率四十二パーセントであり必ずしも全校生徒の意見を反映したものではないことをお伝えしておく。

大仁 洋先生
(記念祭のテーマについて)
今の時代に「反戦」を更に広げて平和を願うというテーマを持つてきたのは良かったと思う。世界中、同世代の若者や子供が小さな戦争や飢饉で死にかけていたり、実際に戦っていたりすることを、自分が高校生としてどう思うのか、

目向けさせる材料提起と年止は良くやってた。最近の自治会展では良いものだった。世間の風潮に合ったいくテレビ的、大衆的で、軽薄な自由展示をなげかけたが、それは、せっかくのものが生かされていく。原則的には、受容者が真面目に計画を立てても、一般生徒は面白くないものが多いが、行前から面白くないと判断している人が多いために、過去の展示が今年にも尾を引いてしまっている。つまり先入観が大きいものがある。

夫がない、何がどこであるかわからない、等が上がった。アンケートの結果を通して、これからを展望してみよう。「面白くない」という先入観を打破することが必要だろう。アンケートから、手軽に楽しめる、見て聴いて簡単に楽しめる物に人気が集まっているのは明白である。又、自分自身で体験できる(お茶会、琴の自由演奏等)展示にも人が集まっていた。

Table with 5 columns: 表1 (見たり見ない), 表2 (招待したか), 表3 (来た部 Best 5), 表4 (客の来なかった部 Worst 5), 表5 (特に良かった部のBest 5)

藤井 信子先生
(記念祭のテーマについて)
今回のようなテーマを考えた自持感、皆で取り組める様なものは良かったと思ふ。高生の中に、一度は考えてみた方がいい。一年に貼ったポストカードも一考の価値がある。重ね重ね貼ってあけておく方がいい。貼る場所を増やす準備が必要であろう。また、各部の宣伝も足りないのではないかと、クラス展示と比べては、なかなか地味なものも増やしたい。学校を回つてみた。思ったより、又地味なテーマが多い文化節展示では、深い内容で感心させる一方、気軽に楽しめるものを増やす時期にあるのではないかと。

I♥芦高 シリーズ
掃除はどうなっているのか
芦高の掃除というのは徹底しているのだろうか。汚いという印象が残った。底底しているのだろうか。汚い、本音がどういふ今日この頃、本当にそうなのかな。ゴミ箱が溢れている。ゴミ箱からゴミがあふれている。ゴミ箱が溢れている。ゴミ箱が溢れている。ゴミ箱が溢れている。

裏表独語
芦高出版部と言え、知る人ぞ知る読者スポーツ団体でもある。暇な時に男子部員達でチームを作り、他の部と野球やバレーボールの試合をしては遊ぼう。今年は文化節対抗リレーでも優勝し、そういう事もあってか新聞はいっぱい出てくる。部員達の団結は、野球とバレーと倉庫によって保たれてきたりもしている。

森中会長辞任
改選は二学期に

第33代自治会会長の森中 宏明君が、記念祭後に、執行部で辞意を表明し、この度(前)の昼休みに臨時の生徒大会が開かれ、全校生徒に会長から辞任の理由と、執行部が承認するかどうかの採決が行われ、全会一致により、森中会長の辞任が承認された。

年が新たなる二学期に会長選挙が再び行われ、来年6月までの会長が選出される予定です。また生徒大会に先立ち、次期役員会が召集され、その会で副会長からこの辞任が伝えられ、理由の説明の要請に答えた後、全会一致で承認された。

この辞任で、芦高の自治、運営の難しさは一般生徒も認識し、生徒一人一人の参加を促す努力が望まれます。(運営が悪かったギマン)

